

2021年3月26日
沖縄電力株式会社

金武火力発電所における木質バイオマス混焼の運用開始について

当社は、2020年3月より建設工事を進めてまいりました[※]金武火力発電所における木質バイオマス供給設備について、本日、同設備の建設および試運転が完了し、本格運用を開始いたしましたのでお知らせいたします。（[※]2020年3月10日プレスリリース済）

当社が利用する木質バイオマス燃料は、株式会社バイオマス再資源化センター（BRC）において、沖縄県内で有効利用されず焼却処分されていた建築廃材等から製造されており、県内における建築廃材のリサイクル推進に貢献するとともに、石炭の消費量を抑制することで県内のCO₂排出量の削減にも寄与するものです。

当社は、総合エネルギー事業者として、地球温暖化対策を優先し対応すべき重要な経営課題の一つに掲げ、これまでも、再生可能エネルギーの導入拡大やLNG火力の導入、具志川火力発電所におけるバイオマス混焼等、各種施策に積極的に取り組んできました。

また、昨年12月には「沖縄電力ゼロエミッションへの取り組み～2050 CO₂排出ネットゼロを目指して～」を取り纏め、CO₂排出ネットゼロに向けたロードマップを策定しました。今回の金武火力発電所への木質バイオマス混焼の取り組みは、その方向性の一つとして掲げた「火力発電のCO₂排出削減」に向けた具体的な施策の一つとなります。

当社は、沖縄のエネルギーを支える事業者として、持続可能なエネルギーシステムを構築し、安定供給と地球温暖化対策の両立に取り組む、社会へ貢献してまいります。

1. 対象設備および混焼率

対象設備：金武火力発電所1号機、2号機

燃料：石炭

混焼率：木質バイオマス約3%（重量比）

2. 対象木質バイオマス

沖縄県内における建築廃材等を原料とした木質ペレット

3. 木質バイオマス使用量

約3万t/年（金武火力発電所・具志川火力発電所の合計）

4. CO₂削減量等

約4万t/年（金武火力発電所・具志川火力発電所の合計）

添付資料：木質バイオマス供給設備概要

以上

木質バイオマス供給設備概要

○設備概要

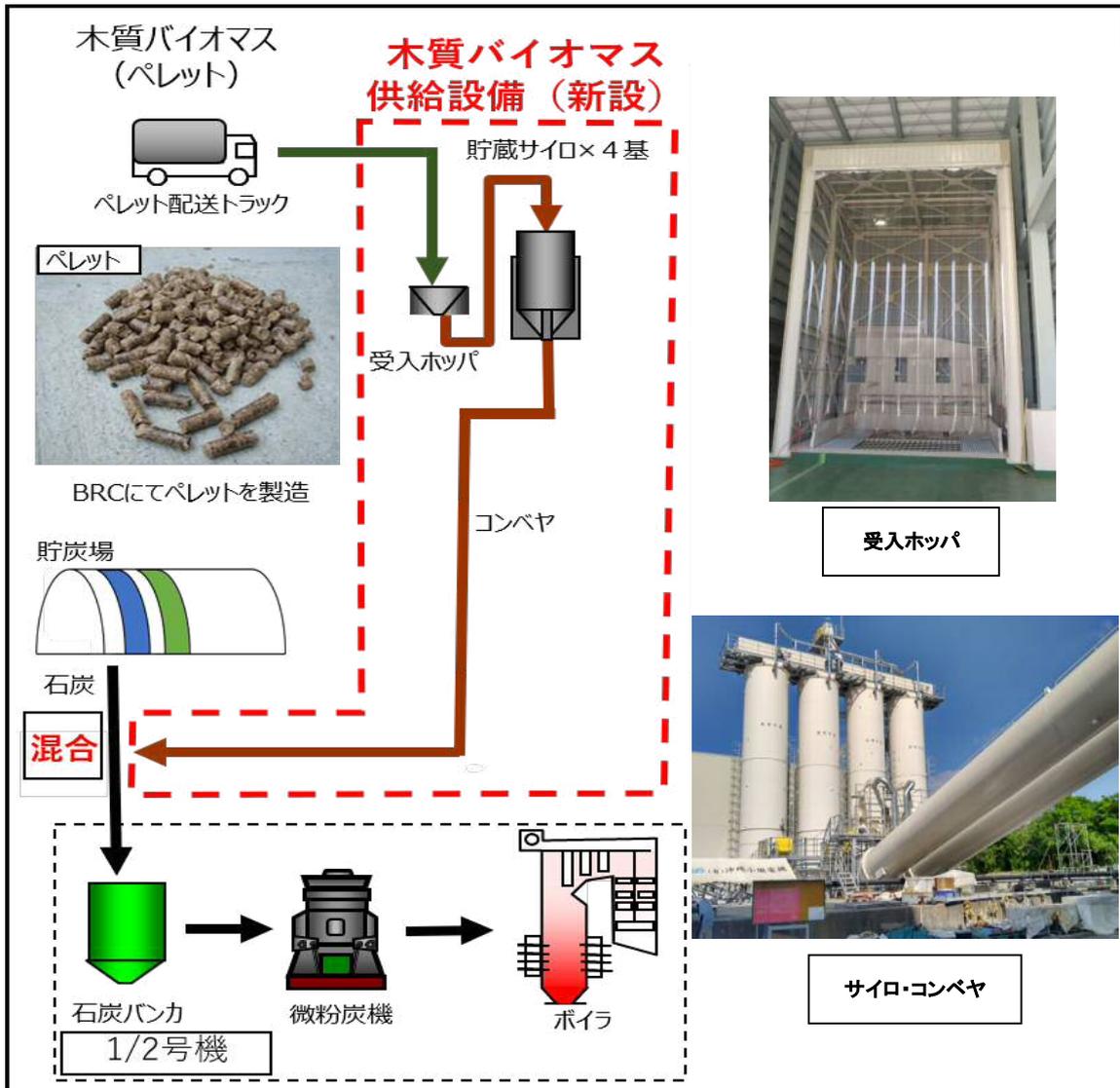
設置場所：金武火力発電所内

燃料形式：木質ペレット（原料：木質系建築廃材等）

形式：サイロ貯蔵コンベア供給方式

混合方式：送炭コンベア上混合式

設備概要図



○金武火力発電所概要

所在地	発電出力（認可最大出力）	運転開始年月
沖縄県 国頭郡金武町 字金武 3333 番地	1号機：220千kW	平成14年2月
	2号機：220千kW	平成15年5月